

# 生業と生活の再建へ 被災者に寄り添う

倉敷市真備、総社市  
現地調査



西日本豪雨災害から3年前に7月4日、大平よしのぶ前衆院議員は倉敷市真備町で開かれた「メモリアルのつどい」に参加し、災害公営住宅や復旧工事などを調査。被災者の生業（なりわい）と生活再建へ——「住民に寄り添い政治の転換を」の決意をあらたにしました。



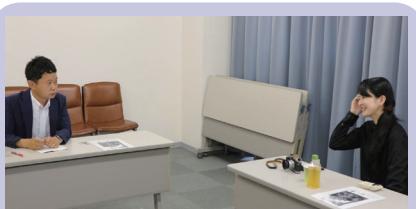
前衆院議員（比例中国・名簿登載予定者）

**大平  
よし  
のぶ**

日本共産党

おひら・よしのぶ

【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期（文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員）、議席奪還を期す。現在、党中央委員。広島県府中町在住。家族は妻と一子。



写真家・堂畠さんと  
懇談 広島市で被災

大平氏は5日、広島市在住の写真家・堂畠紘子さんと懇談しました。堂畠さんは、日本共産党月刊誌『前衛』7月号巻頭に「椰子と生きる！西日本豪雨被災者の視点から」との写真を提供・掲載しています。被災当时と3年たった今の暮らしぶり、必要だと感じた支援などを伺いました。

## 島根原発の再稼働ゆるすな ネット番組

大平前衆院議員は6月28日のネット番組で、島根原発再稼働問題を取り上げました。

ゲストの尾村利成島根県議は、原子力規制委員会が再稼働にむけ事实上の合格を出すなか、「なぜ島根原発2号機の再稼働が許されないのか」について①県民世論の多数が原発再稼働に反対してい

る②新規制基準は福島事故の教訓をふまえていない③使用済み核燃料の処理方法は確立されていない④巨大地震の可能性が否定できない⑤実効ある避難計画は未策定⑥不正・不祥事繰り返す中電に原発動かす資格なし——の6点を指摘しました。

（写真）



4日投開票の東京都議選で日本共産党は、前回同様に19議席を確保し勝利しました。大平氏は、街頭宣伝やSNS発信で奮闘しました。

公式SNS  
スマホで  
チェック♪

衆院 比例代表は「**日本共産党**」と

候補者名は無効です  
政党名を  
書きます